

平成 27 年度 事業シート

第5次廿日市市総合計画（後期基本計画）

基本目標 1 健やかな暮らしを支え、安全で快適に暮らせるはつかいち
 政策目標 3 やさしい心で支え合い、健やかに暮らせるまちに
 重点的取組 1 人権を尊重し、一人一人の存在が認め合える環境を整える

担当課名	自治振興部 人権・男女共同推進課		
予算科目	会計	01	一般会計
	款	03	民生費
	項	01	社会福祉費
	目	07	人権推進費

事業名	人権啓発推進事業	事業開始年度	平成 19 年度
		根拠法令 条例 個別計画等	廿日市市人権教育・人権啓発指針

1 事業の目的、意図

目的	【対象】誰の(何の)ために	【目指す姿・意図】(いつまでに、どういう状態に)
	市民	市民がすべての人権問題の解決を自らの課題としてとらえ、差別意識の解決と差別根絶のため実践行動を起こしていくことができるように啓発事業を推進する。 人権を尊重し、一人一人の存在が認め合える環境を整える。

2 事業の実施主体・関係団体・役割

実施主体	市役所(職員)の役割	関係団体(パートナー)	関係団体(パートナー)の役割
市	人権強調月間における広報・宣伝活動、人権作品の募集・表彰、補助金の交付、研修会の実施、市広報紙への記事掲載、人権の花運動	廿日市人権擁護委員協議会 廿日市市人権啓発推進協議会連合会 人権問題啓発活動推進者の会	人権啓発活動の推進

3 平成 27 年度 決算（事業の内容・コスト情報・目標到達見込）

実施した事業の内容（活動実績）	<ul style="list-style-type: none"> ○人権強調月間 人権強調月間の認知度向上のため、広報や街頭宣伝活動をはじめ、啓発グッズの配布を行った。 ○人権作品募集 小・中学生をはじめ、市民から、標語・作文・詩・ポスター・写真の人権作品を募集し、表彰・展示を行った。 ○廿日市市人権啓発推進協議会連合会(以下「人権連」という)への補助 人権連に補助金を交付し、地域・地区人権啓発推進協議会と連携を図りながら、講演会、映画会などを実施し、人権啓発事業の一層の推進を図った。 ○広島県西部人権問題啓発活動推進者の会(以下「推進者の会」という)への支援 推進者の会及び市民組織啓発グループ3団体の育成を目的として、研修費などの支援を行った。 ○広報紙(人権問題シリーズ)への記事掲載 人権問題に精通した市民による広報編集委員会を年3回開催し、3記事を作成した(平成28年度の広報紙へ掲載)。 ○人権の花運動 人権擁護委員と協力し、全小学校の児童を対象に、ヒヤシンスの球根を配布した。 						
	【歳入】	<ul style="list-style-type: none"> ・人権啓発活動地方委託金 114,000 円 					
	【歳出】	<ul style="list-style-type: none"> ・人権強調月間 208,800 円 [啓発用品等] ・人権作品募集 364,865 円 [選考委員謝金・賞品・参加賞等] ・人権連への補助 3,150,374 円 [人権啓発推進協議会連合会補助] ・推進者の会への補助 77,875 円 [講師謝金等] ・広報編集委員会の開催 41,700 円 [委員謝金等] ・人権の花運動 234,761 円 [球根・ポット・シール等] ・その他 105,582 円 [職員研修旅費等] 					
	【歳出合計】	4,183,957 円					
	コスト情報（円）	項目		平成 26 年度決算	平成 27 年度決算①	①のうちH26から繰越	H27からH28へ繰越
		財源内訳	直接事業費 A	4,349,951	4,183,957		
			国庫支出金				
			県支出金	114,000	114,000		
			借入金(市債)				
			その他(使用料など)				
		市(市税など)	4,235,951	4,069,957			
	人件費(按分) B	0.65 人 5,573,100	0.68 人 5,751,440				
	総事業費(A+B)	9,923,051	9,935,397				
到達目標	活動	活動及び成果指標	単位	H26実績値	H27目標値	H27実績値	備考
		啓発グッズを配布し、啓発する	部	26,800	10,000	21,800	
到達目標	成果	広報編集委員会での原稿検討、記事掲載回数	回	3	3	3	